

実践記録

139

シリーズ

「休日活用講座 美術館の楽しみ方」

長岡市中央公民館主事 佐藤 春雄

■はじめに

本市では「いつでも、どこでも、だれでも学べるまち」を目指し、多様な学習機会の提供に努めている。

標記講座は、①「公民館講座への新規受講者の獲得」②「余暇の活用方法の提案」③「他の機関との連携」を目的に、県立近代美術館から協力を得て実施した。

■①「公民館講座への新規受講者の獲得」

日曜日の午後、2時間半の単発講座とした。これは、1回でも講座に参加した方は、「次はどんな講座があるか」意識するはず、まずは参加してもらうことから、と考え、設定した。また、チラシとポスターは、なるべく軽く・明るい雰囲気が出るよう努めた。

いよいよ選別民力レッシュ登録講座

休日活用講座

行ったことあり
キッカケに!

美術館の楽しみ方

「東海道五十三次とジャポニスム」開催中の
県立近代美術館を訪れ、美術館の楽しみ方を
学びます。
歌川広重の名作などの解説会もあります。
参加した後は美術館がヤミツキになるかも!?

●日 時：3月22日(日) 13:00~15:30
●会 場：千秋3丁目278-14 県立近代美術館
(現地集合となります)
●参加費：420円(企画展観覧料)
●定 員：先着20名
●申込み：3月9日(月)から中央公民館へ

TEL: 32-0437
Eメール: chu-kou@city.nagaoka.niigata.jp

長岡市中央公民館

■②「余暇の活用方法の提案」と

③「他の機関との連携」

市内にある3大学1高専(長岡大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、長岡高専)と連携し、「ながおか市民大学」をすでに実施しているが、②、③

を一体的に考え、「事業実施していない分野」、「相手にもメリットがなければならない」などの視点から検討した結果、近代美術館に協力を依頼した。



■講座内容

美術館が作品展示以外に実施している事業などについて座学形式で講義を受け、その後、企画展「東海道五十三次とジャポニスム」の鑑賞と、学芸員による作品解説会を行った。

■事業実施後の自己評価

公民館講座への初参加者は21名中12名であった。「落ちついた雰囲気、たまには美術館も良い」など、肯定的な意見が多くあり、前記の目的のうち、①、②は概ね達成できたのではないかと。

③については、講義内容の細部や資料づくりなどの面において十分とは言えなかったが、新しい試みはできたと感じている。相手のメリットをもっと強調して提案することで、協力を引き出せばよかった。

今後も他の機関とさらに連携・協力し、充実した講座を提供し、最終的に市民の主体的な学習に寄与できればと考える。